

兵庫県川西市

中心市街地活性化基本計画

【3期計画：令和2年4月～令和8年3月】

- ・中世～：清和源氏発祥の地として源氏発展の基礎を築き、ゆかりの寺社を抱える。
- ・昭和40年代～：交通利便性を活かした大阪のベッドタウンとして発展。
- ・人口158,873人(H31年1月住民基本台帳)、面積53.44km²

【前期計画(平成27年4月～令和2年3月)の概要】

- キセラ川西地区の整備により、まちに新たなにぎわいが生まれた結果、来街者の平均滞留時間や人口の社会増減は増加した。
- 一方で川西能勢口駅周辺とキセラ川西地区をつなぐエリアに魅力的な店舗が生れなかったことや、回遊させるためのイベントのマンネリ化などで回遊ルートが構築できず、歩行者・自転車通行量が減少し、にぎわいが限定的なものになった。

【中心市街地の課題等】

- 全体の回遊性を向上させ、恒常的なにぎわいを創出する
官民が連携して回遊ルートを構築することで、川西能勢口駅前周辺とキセラ川西地区のみに滞在している来街者をエリア全体に広げ、恒常的なにぎわいを創出することが必要である。
- 魅力的な店や活躍する人を増やし、経済活力を向上させる
市民、起業家、地元商業者が活躍しやすい環境づくりを行い、連携体制を構築することで、市内在住者及び市外からの来街者の消費の確保を図ることが必要である。

【目指す中心市街地の都市像】

このまちに暮らす人、訪れる人 みんなを結び いきいきわくわくできるまち

【前期計画目標】

目 標	目 標 指 標	基 準 値	目 標 値	最 新 値 <small>※()は目標値の達成見込</small>
多彩な活動や交流が広がる中心市街地の創造	歩行者・自転車通行量(休日)	67,830人(H26)	71,727人(H31)	66,026人(H30)
	来街者の平均滞留時間	2.04時間(H26)	2.42時間(H31)	2.77時間(H30)
暮らしとなる魅力的な中心市街地の創造	人口の社会増減	4人/年(H21～H24平均)	106人/年(H27～H31平均)	126人(H27～H30平均)

【新計画目標】

目 標	目 標 指 標	基 準 値	目 標 値
恒常的なにぎわいが生まれる持続可能なまちを創造する	歩行者・自転車通行量(休日)	44,177人(6地点)(H30)	46,547人(R7)
	中心市街地の居住人口の社会増	126人(H27～H30平均)	194人(R2～R7平均)
魅力ある場所や活躍する人が生まれるまちを創造する	新規起業家数	4人(H28～H30)	22人(R7)
	新規出店数	5店(H28～H30)	30店(R7)

恒常的なにぎわいが生まれる持続可能なまちを創造する

【主要事業】

- ・グリーンスローモビリティ導入事業
- ・都市計画道路豊川橋山手線整備事業
- ・シェアサイクル導入事業
- ・中心市街地案内サイン板整備事業

など

魅力ある場所や活躍する人が生まれるまちを創造する

【主要事業】

- ・コワーキングスペース運営支援事業
- ・ペDESTリアンデッキにぎわい活用事業
- ・中心市街地空き店舗出店支援事業
- ・まちのプレイヤー発掘事業

など

川西市中心市街地活性化基本計画の事業概要

恒常的なにぎわいが生まれる持続可能なまちを創造する

① グリーンスローモビリティ導入事業

川西能勢口駅東側から、豊川橋山手線を通り、前期計画で整備したキセラ川西プラザ、キセラ川西せせらぎ公園、キセラ川西地区に整備予定の新病院を結ぶルートで運行することで、回遊性の向上を図る。

② 都市計画道路豊川橋山手線整備事業

キセラ川西地区から絹延橋を結ぶ道路及び歩道の拡幅に合わせ、踏切拡幅することで、通行の安全確保とキセラ川西地区へのアクセス向上を図る。

③ シェアサイクル導入事業

川西能勢口駅周辺からキセラ川西地区における手軽に使用できる交通手段としてシェアサイクルを導入することで川西能勢口駅前からキセラ川西地区へのアクセスの向上を図る。

④ 中心市街地案内サイン板整備事業

川西能勢口駅前、キセラ川西地区、その2点を繋ぐエリアに、デザインルールにより統一された案内サイン板を設置することで中心市街地の回遊性の向上を図る。

魅力ある場所や、活躍する人が生まれるまちを創造する

⑤ コワーキングスペース運営支援事業

起業をめざしている者や既に起業している者などが集まることができ場の運営を支援することで、市内での起業を増やすなど、まちに新たな仕事を創出する。

⑥ ペDESTリアンデッキにぎわい活用事業

川西能勢口駅と駅前商業施設をつなぐ道路空間で道路管理者と連携し、にぎわいイベントを実施することで、周辺施設への集客や来街者の増加を図る。

⑦ 中心市街地空き店舗出店支援事業

中心市街地の空き店舗に出店する事業者に対し、開店の支援を行うとともに、事業が継続できるよう家賃の一部の補助を行うことで、中心市街地に魅力的な店舗を呼び込む。

⑧ まちのプレイヤー発掘事業

タウンマネージャーが中心となり、まちの使い方や活性化をテーマに交流し、まちで活躍するプレイヤーを発掘することで、相乗的なまちのにぎわいを創出する。

